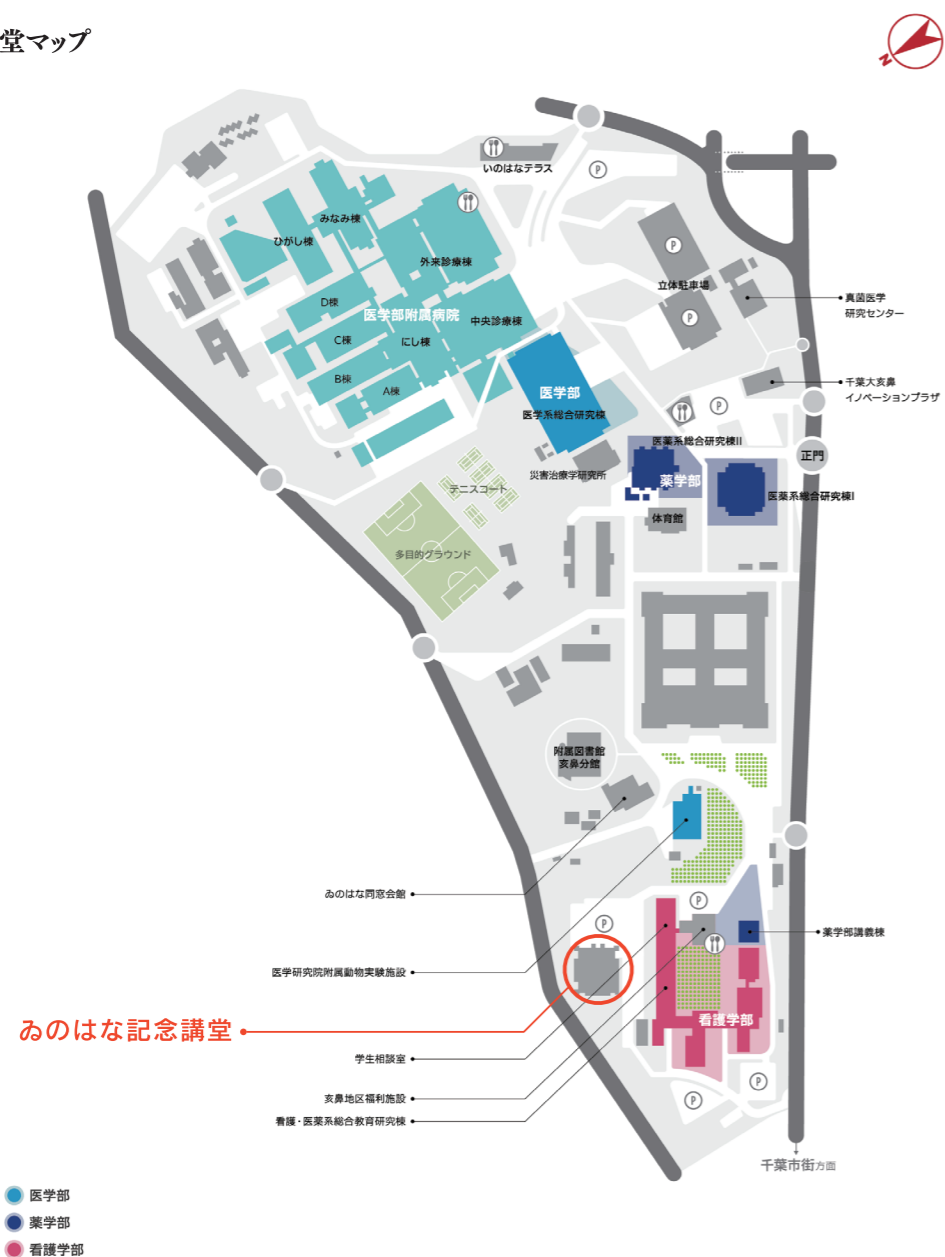


○記念講堂マップ



- 事前受付は不要です。当日記念講堂入口に記帳台をご用意いたします。
- 3月4日当日は個人として花束、プレゼントなどお持ちいただいても記念講堂ではお預かりできません。



水引で結ばれた梅結び

5本の水引は、これまで長く看護学研究院で教授として活躍してこられた、最終講義をなさる5人の教授を表しています。梅は寒中に耐えて春一番にかおりの良い花を咲かせることから、人生の節目の縁起花であり魔を払うとされています。その梅を模した梅結びは一度結びを完成させたら2度と同じように結びなおすことはできません。この結びで看護学研究院との絆を表しています。

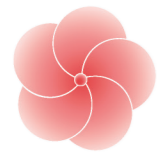


主催：看護学研究院
最終講義タスクフォースメンバー
飯野理恵、池崎澄江、小川俊子、川名江津子、菊本拓、近藤貴弘、酒井郁子、諏訪さゆり、高橋浩之、前原邦江、眞嶋朋子、和住淑子、渡辺春子

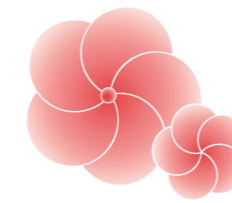
日時：令和6年3月4日（月） 13時～17時
会場：千葉大学 亥鼻キャンパス ゐのはな記念講堂

令和五年度
看護学研究院
最終講義
次第





令和5年度 看護学研究院最終講義 プログラム



ご略歴



令和6年3月31日をもって、定年退職を迎える5名の先生方から、後進に伝えたいことを自由に語っていただき、未来につなぐ機会とする最終講義を開催します。長年にわたる千葉大学、そして看護学研究院へのご貢献に心より感謝し、その功績を讃えます。

12:00	開場	
13:00	開会のあいさつ	眞嶋 朋子 評議員
13:05	全体記念撮影	
13:15	Pay it forward – 恩送り –	岡田 忍 教授
13:55	保健学と看護学	北池 正 教授
14:35	看護学部での11年	小宮山 政敏 教授
15:15	休憩(15分)	
15:30	世界の動向からみた看護と教育	手島 恵 教授
16:10	助産師・看護学教育研究者としての実践知と研究	森 恵美 教授
16:50	閉会のあいさつ	諏訪 さゆり 研究院長
17:00	閉会	

岡田 忍 教授

1981年千葉大学看護学部卒業、1983年同大学院看護学研究科修士課程修了。製薬会社研究所勤務後、1998年東京医科歯科大学大学院医学系研究科で博士号を取得し、茨城県立医療大学保健医療学部を経て、2000年10月より千葉大学助教授に着任、2007年より同教授。日本看護科学学会代議員、日本看護技術学会評議員、日本感染看護学会理事。最新著書「微生物学・感染看護学 微生物から感染防止を考える第2版」(2021年)

北池 正 教授

1982年東京大学医学部保健学科を卒業後、同大学院医学系研究科修士および博士課程を修了し、1991年に博士(保健学)の学位を取得。1988年よりPL東京健康管理センター研究員、1993年より岡山県立大学保健福祉学部助教授、1999年より千葉大学助教授、2002年より同教授。2007年より8年間は同大学看護学部附属看護実践研究指導センター長を併任。日本健康学会評議員、日本看護研究学会評議員、千葉県公衆衛生協会理事。

小宮山 政敏 教授

1982年東京農工大学農学部獣医学科卒業後、1984年東京農工大学大学院農学研究科獣医学専攻修士課程修了。国際武道大学体育学部助手として勤務後、1990年より千葉大学医学部助手、2002年同大学院医学研究院講師、2003年同大学環境健康フィールド科学センター講師、2008年同大学院医学研究院准教授、2013年同大学院看護学研究科教授。2013年より千葉医学会評議員。

手島 恵 教授

1981年徳島大学教育学部特別教科(看護)教員養成課程卒業後、1983年千葉大学看護学研究科修士課程修了。自動車事故対策センター附属千葉療護センター勤務の後、1987年聖路加看護大学講師。1993年に渡米し、ミネソタ大学客員研究員、1995年同大学院博士課程入学。帰国後、1998年9月より東札幌病院副看護部長、2001年から千葉大学教授、2002年より同大学院独立専攻看護システム管理学教授。2021年11月から国際看護師協会理事。最新著書「これからの倫理と看護(日本看護協会出版会2021年)」

森 恵美 教授

1981年千葉大学看護学部卒業後、総合母子保健センター附属愛育病院助産師。1989年千葉大学大学院修了後、日本赤十字看護大学助手、1994年医学博士取得。1993年千葉大学助教授、2000年より同大学教授。看護師・保健師2,480名以上、助産師174名、母性看護学の修士(看護学)67名、博士(看護学)26名を育成。同大学評議員を経て2007年度から2年間看護学部長・看護学研究科長。2014年より副理事。